

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名 前立腺癌の強度変調放射線治療時における前処置が近接臓器体積量の再現性に与える影響に関する研究
1. 研究の対象および研究対象期間 2015年4月～2020年3月に当院において前立腺癌に対する強度変調放射線治療を受けられた方
2. 研究目的・方法 前立腺癌の治療法の1つとして、強度変調放射線治療（IMRT）を用いた放射線療法があります。IMRTは正常組織を避けつつ前立腺癌のみに限局して放射線を照射することが可能な治療技術であり、手術と同等の治療効果が得られているとの報告があります。その一方で、前立腺は膀胱と直腸に近接している臓器であり、膀胱体積や直腸ガスなどの生理現象により、前立腺の位置が変動することがあります。これらの生理的位置変動を防ぐため、当院では治療前に前処置として、排便排尿後の飲水および数十分の畜尿をしています。前処置の方法は様々であり、前処置の方法に対しての評価を検討した先行研究は存在していません。本研究では、前処置の方法と治療計画CTおよび治療前に撮影するCTから算出した膀胱や直腸の臓器体積量との関連性を調べ、再現性の高い前処置方法の提言および施設間の標準化を目的としています。
研究期間 「医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院 病院長による研究実施許可を得てから2020年3月まで
3. 研究に用いる試料・情報の種類 前立腺 IMRT を施行した患者における年齢、身長、体重、IMRT 施行前の前処置方法、治療計画 CT および各治療前 CBCT 時における臓器体積量（前立腺、膀胱、直腸）、膀胱体積測定用超音波装置における膀胱体積量
4. お問い合わせ先 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属：昭和大学病院 放射線技術部 研究責任者：藤井 智希 住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8000 (内線 8582)